

第38回非常通信訓練コンテスト規約

今年もログ提出局の中から、抽選で5局に副賞として、防災関連グッズが当たります。

【開催日時および使用周波数】

2020年（令和2年）4月4日（土）18：00～23：59（JST）

使用周波数帯およびその運用可能時間帯は下記のとおり

3.5MHzおよび7MHz：18：00～19：59

50MHzおよび144MHz：20：00～21：59

430MHzおよび1200MHz：22：00～23：59

【運用モード】

各バンドとも電話（AM、SSB、FM(V・UHF帯)）のみ

各バンドにおける使用周波数帯は、JARL主催コンテスト使用周波数帯の指定によるものとする。

但し、1200MHzバンドは総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の形式及び周波数の使用区分」によるものとする。

また、各バンドの呼出周波数・デジタル呼出周波数及び非常通信周波数は使用しないこと。

【参加資格】

シングルオペレーター（個人局・社団局&ゲストオペ）で運用する日本国内のアマチュア無線局。

シングルオペは、コンテスト中の運用に関わる全てを一人で行なうものとする。

【交信方法】

1. 交信相手局

神奈川県内で運用する局（県内局）の場合：全ての国内局

神奈川県外で運用する局（県外局）の場合：神奈川県内で運用する局（県内局）

2. 呼び出し

県内局電話：「CQ神奈川県訓練」

県外局電話：「CQ神奈川県訓練こちらは県外局」

3. コンテストナンバーの交換

県内局：「相手局のシグナルレポート」＋「自局の運用場所の郵便番号（7桁）」

県外局：「相手局のシグナルレポート」＋「自局の運用場所を示す市・郡・区ナンバー」

【参加部門および種目】（下記のいずれか1つの部門種目のみに書類提出できます）

部門種目 (下記のいずれも電話シングルオペのみ)	コードナンバー	
	県内局	県外局
オールバンド（注2）	K A	X A
HF-Low（3.5/7MHz）バンド（注1、2）	K H L	X H L
VHF（50/144MHz）バンド（注1、2）	K V	X V
UHF（430/1200MHz）バンド（注1、2）	K U	X U
3.5MHz バンド	K 3 5	X 3 5
7MHz バンド	K 7	X 7
50MHz バンド	K 5 0	X 5 0
144MHz バンド	K 1 4 4	X 1 4 4
430MHz バンド	K 4 3 0	X 4 3 0
1200MHz バンド	K 1 2 0 0	X 1 2 0 0

（注1） HF-Low（3.5/7MHz）バンド、VHF（50/144MHz）バンドおよびUHF（430/1200MHz）バンドの各種目には、それぞれの種目に含まれる2つの周波数帯を使用した場合にのみエントリーできる。

（注2） オールバンド種目には、2つ以上の周波数帯を使用した場合で、（注1）以外の場合にのみエントリーできる。

【得点およびマルチプレイヤー】

1. 得点

コンテストナンバー交換が完全に行なわれた交信を1点とする。

ただし、県外局同士の交信は無効（0点）とし、また同一バンド内における同一局との重複交信は、たとえ電波形式が異なっていた場合であっても、1交信のみを得点とし、それ以外は0点とする。

2. マルチプレイヤー

県内局：相手局の運用場所を示す異なる神奈川県内の郵便番号（7桁）および神奈川県以外の異なる市・郡・区

県外局：相手局の運用場所を示す異なる神奈川県内の郵便番号（7桁）

3. 神奈川県内の各運用場所を示す郵便番号については、下記の日本郵便株式会社の郵便番号検索サイトなどを参照して確認してください。 <http://www.post.japanpost.jp/zipcode/>

4. 市・郡・区ナンバーについては、下記に掲載の「JARLコンテストで使用する市・郡・区番号表」に準じます。 http://www.jarl.org/Japanese/A_Shiryo/A-2_jcc-jcg/jcc.htm

【総得点の計算】

「各バンドにおける得点の和」×「各バンドで得たマルチプレイヤー数の和」とする。

【禁止事項】

1. クロスバンド、クロスモードおよびレピータによる交信
2. コンテスト開催時間中における運用場所の変更・・・コンテストナンバーが変わらなくても不可
3. 同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射
4. 同一オペレーターによる複数局の運用（同一免許人が有する複数のコールサインなど）
5. マルチオペレーター運用（社団局及びゲストオペレーターなどによる複数人での運用）

【書類提出】

1. J A R L 制定の「サマリーシート」および「ログシート」（または同形式のもの）を使用し、必要事項を記入して提出すること。
電子メールによる書類提出の場合は、J A R L 主催コンテストにおける所定の様式（JARL推奨旧フォーマット (R1.0)）で作成した「サマリー&ログシート（テキストデータ）」をメール本文に貼り付けて、提出先メールアドレスに送信すること。メールを受信次第、受取りメールを返信します。
なお、紙によるサマリー・ログ書類は、手書きのもののみを受け付けることとする。
2. いずれか1つの部門種目のみに書類を提出すること。
なお審査の対象とすることを希望しないバンドについては、チェックログとして提出すること。
チェックログ扱いを希望するバンドの交信については、ログシートにおいて当該交信の得点を0点とし、サマリーシート意見欄等にチェックログとするバンドを明記すること。
3. 常置場所以外に移動して運用した局は、運用場所（県内局は運用場所を示す郵便番号の地名、県外局は市・郡・区まで）を書類に明記すること。
4. 交信局数が100局を超える紙ログ書類を郵送で提出する場合は、重複する交信およびマルチプレイヤーの確認書類（チェックリスト）を添付すること。（様式は問いません）
5. サマリーシートの意見欄にお寄せいただいたご意見やご感想は、今後のコンテスト運営に活かさせていただくとともに、後日コメント集として公表させていただく場合があります。
6. 提出締切日
 - （1） 電子メールの場合：2020年（令和2年）4月18日（土）（必着）
 - （2） 紙ログ郵送の場合：2020年（令和2年）4月16日（木）（消印有効）
7. 提出先
 - （1） 電子メールの場合
送信先メールアドレス：hijou-test@jarlkn.sakura.ne.jp
送信件（Subject）名：エントリーするコールサイン（例：JN1DNV/1）・・・サマリーと同じ
 - （2） 紙ログ郵送の場合
〒232-0071 神奈川県横浜市南区永田北3-7-3-305 山岸純（JN1DNV）宛
（封筒には、『非常通信訓練コンテストログ在中』と朱書きすること）

【賞】

1. 全ての部門種目毎に、参加局数が10局以下の場合1位、11局から20局以下の場合2位まで、21局以上の場合3位までの順位の局を神奈川県支部ハムの集いで表彰し、賞状を贈る。
2. ハムの集いに出席されなかった表彰対象局には、集い終了後に賞状を郵送します。
3. ログ提出局の中から、抽選で5局へ副賞として、防災関連グッズを贈呈します。

【失格事項】

1. 本規約に定める事項に違反した場合
2. その他 J A R L 主催コンテスト規約に準ずる失格事項

【結果発表】

1. JARL神奈川県支部のホームページ（<http://www.jarlkn.info/>）、JARL NEWS等で公表します。
2. 電子メールによる書類提出者には、電子メールで結果表をお知らせします。
3. 返信先を明記して94円切手を貼った封筒（S A S E）を同封された郵送による紙ログ書類提出者には、郵送で結果表を返信します。

【その他】

本規約に明記なき事項についてはJARL主催コンテスト規約に準ずるものとします。

本規約に対するお問い合わせは、書類提出先まで封書（SASEを同封のこと）もしくは、下記のお問い合わせ先メールアドレスまで電子メールにてお送りください。

お問い合わせ先メールアドレス：jarlkncontest+request@gmail.com

(参考)「JARL 主催コンテストの電子ログの提出について」

http://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/e-log.htm

「JARL 神奈川県支部主催コンテストの電子ログ提出について」

http://www.jarlkn.info/award_contest/index4_file/e_log/2019e_log.pdf